

国際文化協力室での勤務を通じて

平成 30 年 3 月
外交実務研修員 杉本 大輔
(福岡県より派遣)

1 はじめに

平成 28 年 4 月に外務省に着任してから、早いもので 2 年が経過しようとしています。それまでは、福岡県庁で 3 年間、主に保育所等の運営費の公費負担に関する業務を担当していました。福祉の世界から外交の世界へと、全く違う世界に飛び込むことになりましたが、周りの方々に支えられ、なんとか 2 年間の本省勤務を終えようとしています。

本稿では、簡単にではございますが、私が本省で勤務してきた国際文化協力室と、印象に残っている出来事について述べたいと思います。



外務省での勤務初日に撮影。
春になると、庁舎の前に咲く綺麗な桜を楽しむことができます。

2 国際文化協力室と世界遺産

私が勤務してきた国際文化協力室は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）や国連大学を所管している部署です。その中でも、私は主に世界遺産に関係する業務に携わってきました。

世界遺産というと、登録されるまでが注目されがちですが、その本来の目的は、文化遺産及び自然遺産を人類全体のための遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存するための国際的な協力及び援助の体制を確立することとされています。そのため、ひとたび世界遺産に登録された資産は、世界遺産条約に定められた義務を遵守することが申請者に求められます。また、国際文化協力室では、在外公館、文化庁や環境省等の関係省庁及び地元自治体等と連携して、新規案件の世界遺産登録に関する業務のみならず、既に世界遺産に登録された資産の保全状況に関する報告書等を作成し、ユネスコ世界遺産センターへ提出するといった業務も行っています。

3 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

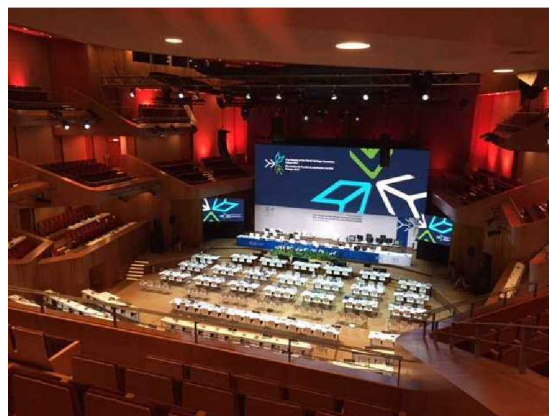
国際文化協力室での勤務の中で一番印象に残っているのが、平成 29 年春から夏にかけての、福岡県に所在する「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」（以下、「宗像・沖ノ島」という。）の世界文化遺産登録へ向けた動きです。

一般的に、世界文化遺産登録候補の案件は、毎年 2 月 1 日までにその推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出され、その後専門家による審査を経て、翌年の 5 月前半頃に、世界遺産委員会の諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）

から、当該案件を世界文化遺産に登録すべきか否かの勧告が出されます。この勧告をもとに、世界遺産委員会で当該資産を世界文化遺産に登録すべきか否かが審議されることとなっています。

「宗像・沖ノ島」については、平成28年1月に世界遺産センターに推薦書が提出されました。その後、専門家による審査を経て、平成29年5月、イコモスから勧告が出されましたが、その内容は、「宗像・沖ノ島」を構成する全8資産のうち、沖ノ島とその周辺の岩礁計4資産のみが世界文化遺産登録に相応しいという、大変厳しいものでした。

イコモスの勧告を真摯に受け止めつつも、当室では、文化庁、福岡県と密に連携し、どのようにしたら、8つの構成資産が一体不可分なものであり、一括して世界文化遺産に登録されるべきものだと世界遺産委員会委員国に理解してもらえるか、説明戦略の検討を重ねました。そして、「宗像・沖ノ島」の世界文化遺産登録の可否が審議される第41回世界遺産委員会（平成29年6月～7月、於：ポーランド・クラクフ）の直前まで関係者への説明を続けた結果、世界遺産委員会は、8資産全てが一体不可分なものであることを認め、全ての世界文化遺産への登録が決定されました。世界遺産委員会の委員国から8資産の一括登録を支持する発言が次々となされるのを聞いたその瞬間は、とても感慨深いものでした。



第41回世界遺産委員会会場
(ICEクラクフ・コンGRESS・センター)

4 おわりに

外務省での2年間の勤務を通じて、人との繋がり大切さというものが身にしみました。外務省の職員の皆さんは、国内は主に東京の外務本省と世界各地の在外公館に分かれて勤務をしていますが、だからこそ、一期一会のご縁を大切にしているという印象を受けました。そして、同じチームとなれば、困難な課題に対して一丸となって取り組み、成果を分かち合う、そのような2年間でした。（私は周りのサポートを受けてばかりでしたが・・・）

本省での2年間の勤務もまもなく終わりを迎え、新年度より2年間、私は在外公館で勤務することとなっております。福岡県庁から派遣されている職員として、海外において日本のためはもちろんのこと、福岡県のために何ができるか、赴任先で出会う人々に福岡県のことをいかに知ってもらえるか、常にアンテナを張っていきたいと思います。

最後になりましたが、国際文化協力室はじめ関係課室、関係省庁の方々、そして外務省勤務中も色々とお世話になりました福岡県の関係各位、その他業務でお世話になりました皆様に、深く御礼申し上げます。

(了)